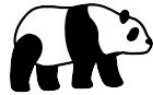


ADVENTURE WORLD

DREAMDAY at the ZOO



ドリームデイ
アット・ザ・ズー 2022

in アドベンチャーワールド



多くの皆様のご協力により、たくさんのsmileを創り出すことができました。

謹 啓 寒冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年11月3日に開催致しました「ドリームデイ・アット・ザ・ズー2022」は、

お陰様で933組 4,031名のお客様をお迎えし、

パーク内で多くのSmileを創り出すことができました。

この度は、ご後援を賜り誠に有難うございました。

今後も、皆様が安心して楽しんでいただけるパーク創り及び
トモニ助け合っていける社会の実現に取り組んでまいりますので、
引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2022年12月吉日

ドリームデイ・アット・ザ・ズー実行委員会

ビジョン「全ての人がつもに助け合って生きていける社会の実現」

ドリームデイ・アット・ザ・ズー2022 SDGs目標

3. 全ての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
11. 住み続けられるまちづくりを
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【開催概要】

- ◆日 時 11月3日(木・祝)10:00～17:00 貸し切り営業
- ◆対 象 全国の18歳以下の障害のある方とそのご家族
- ◆参加者 当選:999組 4,463名 協賛招待枠:29組 126名
合計:1028組 4,589名 実質入園:933組 4,031名 (当選率42.5% 前回:62.9%)
- ◆協 賛 **41件 :4,650,000円** (39企業・団体、2個人)
- ◆クラウドファンディング **165件:1,768,000円**
- ◆出 展 **34企業・団体 246名**
- ◆運営Smileサポーター **135名(救護ボランティア 7名含む)**
- ◆主 催 ドリームデイ・アット・ザ・ズー実行委員会
- ◆後 援 和歌山県、白浜町、田辺市、上富田町、一般社団法人南紀白浜観光協会
白浜温泉旅館協同組合、公益社団法人日本動物園水族館協会



ドリーム デイ・アット・ザ・ズー2022実行委員会 体制図

ドリーム・デイ・アット・ザ・ズー実行委員会 (2022年11月3日開催)

《後援》

和歌山県、白浜町、上富田町、田辺市
一般社団法人 南紀白浜観光協会
白浜温泉旅館協同組合
公益社団法人 日本動物園水族館協会

《協賛》

計39企業・団体、2個人
クラウドファンディング:160名

- ・委員長 中尾建子(AWS)
- ・副委員長 恵納崇(神島高校)、増田勇樹(MSD)、嶋中有樹(AWS)
- ・事務局 下村明輝(丸末)、尾崎美樹(AWS)、小西俊明(AWS)
- ・監事 高場秀樹(TSURUMIこどもホスピス)、山本雅史(AWS)
- ・委員 市川雅子(TSURUMIこどもホスピス)、青儀裕斗(TSURUMIこどもホスピス)
那須正樹(神島高校)、森健一(オフロード)、龍神裕視(紀陽銀行白浜支店)
出口貴之(AWS)、鳥原峰幸(AWS)、武分渉(AWSS)、村上裕美子(AWS)

協賛

- ・協賛企業の募集
- ・協賛金の依頼

Smileサポーター

- ・サポーターの募集
- ・出店・イベント依頼
- ・当日作業の割り当て

広報・自治体

- ・後援依頼
- ・外部リリース
- ・ランディングページ
- ・パンフレット作成

イベント

- ・イベント・ツアーの
企画、運営
- ・当日のパークガイド
作成

ゲスト

- ・招待者の募集
- ・当選、落選案内
- ・当日受付、案内

【2022年実績及び過去推移】(2020年は新型コロナの影響で中止)

●応募数 2,350組 10,121名

●当選数 999組 4,463名 (当選率:42.5%)

●協賛企業招待 29組 126名

	2022年	2021年	2019年	2018年	2017年
開催日時	11月3日(木) 文化の日 10:00—17:00	11月3日(水) 文化の日 10:00—17:00	6月8日(土) 16:30—20:30	6月9日(土) 16:30—20:30	6月10日(土) 16:30—19:30
募集要件	1,000組 全国	1,000組 全国	500組 全国	500組 近畿圏在住	250組 和歌山県在住
応募総数	2,350組	1,615組	1,259組	689組	479組
当選率(組)	42.5%	62.9%	38.4%	75.4%	51.9%
参加者数	933組※ 4,031名	1,003組※ 4,213名	484組 2,070名	529組 2,296名	255組 1,122名
出展	34団体 246名	31団体 279名	16団体 230名	8団体 180名	3団体 40名
ボランティア	135名	141名	—	—	—

※協賛招待枠含む

【特別協賛】



ADVENTURE WORLD



【協賛パートナー（順不同）】



TSP太陽株式会社



YeeY Inc.



Unilever



FANCL
GINZA
SQUARE

紀ノ国外装

誠和

SEWA LTD.



Hirahara Ibun CO.



REBUILD DESIGN PROJECT

辰野株式会社

株式会社ファッションデザイン専門学校



安心で暮らしをみつめ込む



DIKASHO DIGITEC CO.LTD.



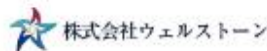
フェスタルゥセ



FUZOROI
Straw



ADAPT



株式会社ウェルストーン



株式会社 竹千代
TAKECHIYO



NKStation



医療法人 善会



みんなの保険社
HOKENSHA



Ricora



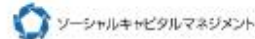
社会保険労務士
ハセガワ事務所



サニタリーセンター



紀陽銀行
白旗支店



ソーシャルキャピタルマネジメント



株式会社
竹田レント&リース



ふじもとふくふく
FUJIMOTO FOODS

三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP



テンダーケア

MAKI COMPANY

Motherplus



JANYO
山陽製菓株式会社

ひろミツパチ



Viel Kinder
Spelen



Light
you
up



- ・2022年協賛金：4,650,000円(39企業・団体、2個人)※金額のみアワーズ含まず
- ・クラウドファンディング：1,768,000円(支援者：165名)

【出展していただいた団体・企業のみなさまとイベント実施内容（順不同）】

◆ブース出展

団体・企業様名	出展内容
南部高校「異文化交流部」	ウェルカムクッキー配布
神島高校「写真部」	写真撮影、写真プレゼント
神島高校「かしまや」	販売ブース(焼き鳥)
基幹相談支援センターにしむろ	販売ブース
白浜町商工会	マスコットキャラクター「しらぺん」ふれあい
日本航空株式会社	JAL体験プログラム、紙飛行機
株式会社ADAPT	レザークラフト体験
レインボーフェスタ和歌山	レインボーフラッグを作ろう！
株式会社 京田クリエーション	ぬりえ
和歌山eスポーツ連合、ACADEMIA和歌山	eスポーツ(どうぶつタワーバトル体験)
ひげ工房	車いすメンテナンス
明光バス株式会社	明光AWS仕様バス設置
帝京科学大学 動物園研究部	紙芝居
子ども向けマジシャン アミティ	マジック、サウンドアクト

【出展していただいた団体・企業のみなさまとイベント実施内容（順不同）】

◆ブース出展

団体・企業様名	出展内容
株式会社オリィ研究所	Orihime 接客
みんなの保険 ぜんち共済事業部	保険の宣伝
HI合同会社	ぬりえ
ごちゃまぜ経営実践研究会	縁日ブース
田辺ダイハツ販売 株式会社	電動車いすWHILL試乗体験
株式会社 マキカンパニー	オールフロントTシャツの展示、パンフレット
株式会社竹千代	販売およびワークショップブース
AWS動物学院	動物レクチャー
株式会社アワーズ	ロボットサークル実演会(3回)
一般社団法人南紀白浜観光協会	マスコットキャラクター「くえどん」ふれあい

【ランディングページへの企業ロゴ・社名掲載】

協賛パートナー

Special Thanks

Thank you All

【特別協賛】

ADVENTURE WORLD 株式会社 アワーズ

【協賛パートナー（後援）】

TSP 株式会社 アワーズ

YeeY Inc. Unilever FANCL GINZA SQUARE

紀ノ国外装 誠和 SENIA LTD. Hirebara Iibun CO. REBUILD DESIGN PROJECT Problem Solving 辰野株式会社

BeoLIFE BUIHO ACADEMY アスマハウス 株式会社ウェルストーン 株式会社 竹千代 TAKECHIYO

DIGITEC. FestiLuCe SDG PARTNERS FUZOROI Straw* ADAPT* NKStation

医療法人 善会 みんぱの保険社 HOKKISHA Ricora 社会保険労務士 八住ハセガワ事務所 紀陽銀行 白浜支店 ソーシャルキャピタルマネジメント

ONEPIPIRAL 株式会社 三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP FUJIMOTO FOODS MAKI COMPANY SANYO Viel* Kinder Spielzeug Light you up

【後援】和歌山県、白浜町、田辺市、上富田町、一般社団法人 南紀白浜観光協会、白浜温泉旅館協同組合、公益社団法人 日本動物園水族館協会

【主催】ドリームデイ・アット・ザ・ズー実行委員会

ランディングページリンク: <https://aws-dream.com/>

特別協賛

株式会社アワーズ アドベンチャーワールド

Specialプラン

TSP太陽株式会社 | 株式会社YeeY

ファンケル銀座スクエア | ユニリーバ・ジャパン

Dream Dayプラン

紀ノ国外装 | 辰野株式会社

株式会社誠和 | HI合同会社

株式会社Problem Solving/株式会社Rebuild

Adventureプラン

株式会社Be LIFE | 非営利株式会社eumo | アズマハウス株式会社

一般社団法人広域連携事業推進機構 | 株式会社ウェルストーン | 株式会社竹千代

株式会社タカショーデジタルック | SDGパートナーズ有限公司 | 株式会社ADAPT

株式会社エヌ・ケイ・ステーション

Smileプラン

医療法人善会 | ひろミツバチ | みんなの保険社ぜんち共済事業部 | 社会保険労務士ハセガワ事務所

弁護士法人リーセット | テンダーケア訪問看護ステーション | 株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント

有限会社ワンアップセライ | 株式会社竹田レント&リース | 株式会社マキカンパニー | FC Primavera

株式会社Spielen | 重信障がい者児童デイサービス Ricora | 三井住友海上火災保険株式会社

紀陽銀行白浜支店 | 藤本食品株式会社 | 株式会社スターエム | 田辺ダイハツ販売株式会社

山陽製紙株式会社 | 株式会社マザープラス

画不同

【実施風景(協賛ボード・ビジョン)】



エントランスドーム



ビッグオーシャン



センタードーム

【実施風景(イベント)】



動物フィーディング



動物ふれあい



遊戯機種運行



マリンライブ「Smiles」



ハッピーパンダパレード

【実施風景(イベントボランティア)】



マジックパフォーマンス



キャラクターふれあい



アンプティーサッカー体験



ダンスパフォーマンス



電動車椅子試乗体験

【実施風景(ボランティア)】



受付対応



入園改札



遊戯機種運行



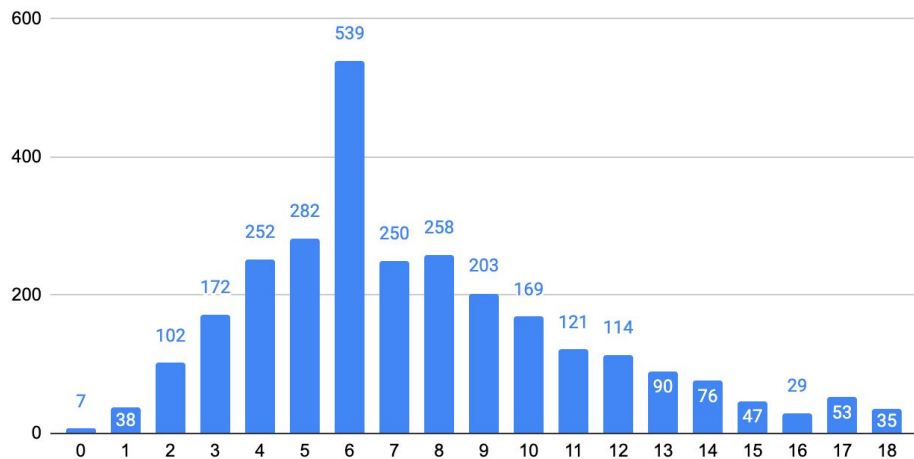
アトラクションサポート



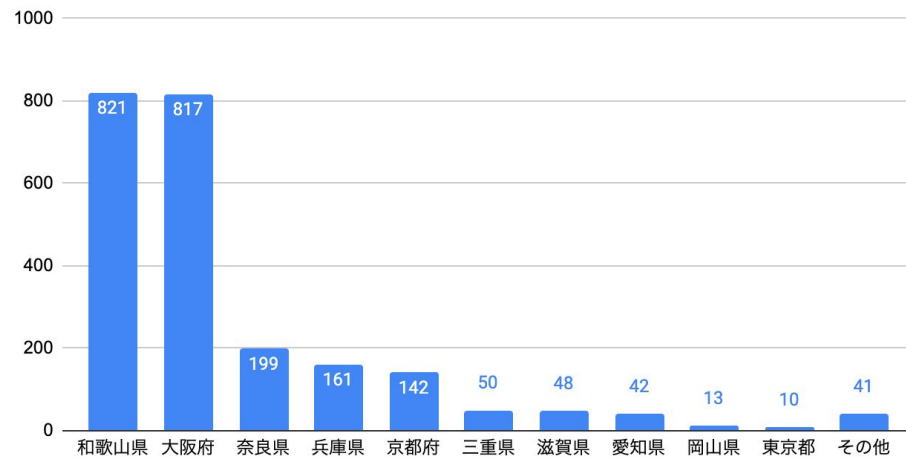
イベント運営サポート

【応募者データ】

対象者年齢別



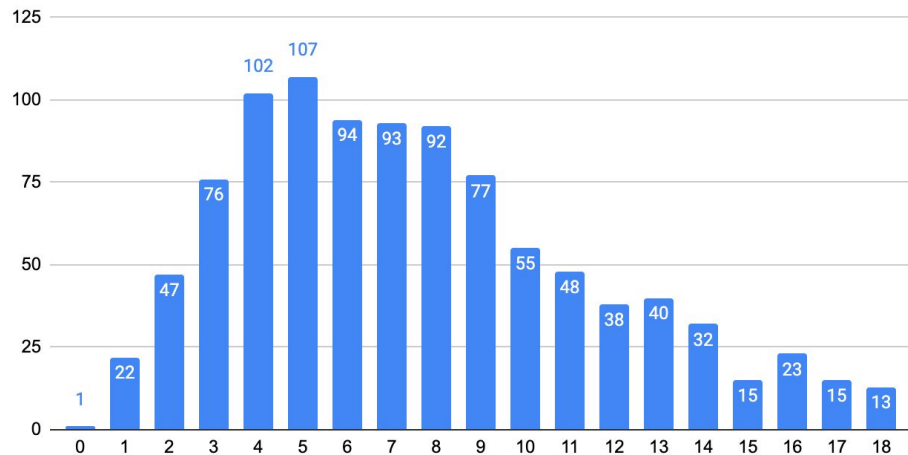
都道府県別



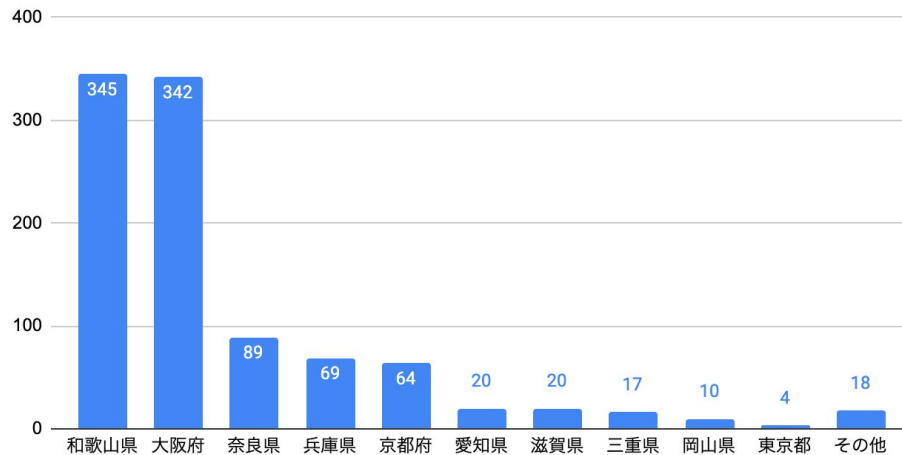
その他: 岐阜県、群馬県、広島県、香川県、高知県、埼玉県、神奈川県、
石川県、千葉県、静岡県、石川県、鳥取県、徳島県、福井県

【当選者データ】

対象者年齢別



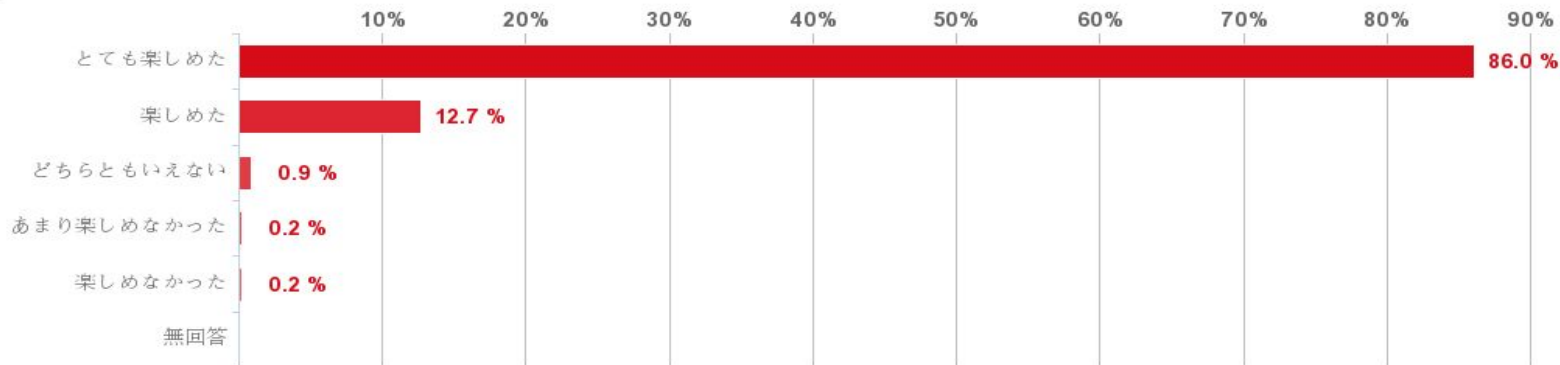
都道府県別



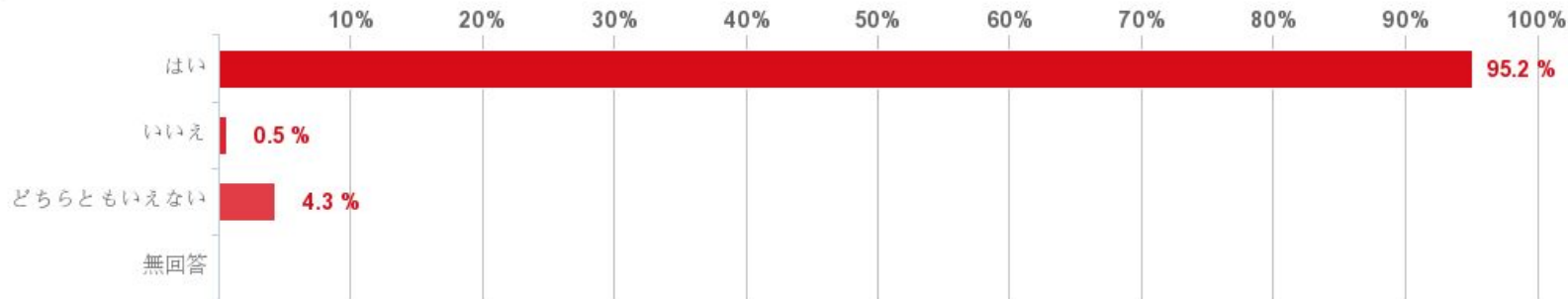
その他: 静岡県、石川県、岐阜県、徳島県、香川県、群馬県、神奈川県
福井県、鳥取県、広島県、高知県

【ゲストアンケート】

ドリームデイ・アット・ザ・ズー2022は楽しめましたか？ (回答数 559)

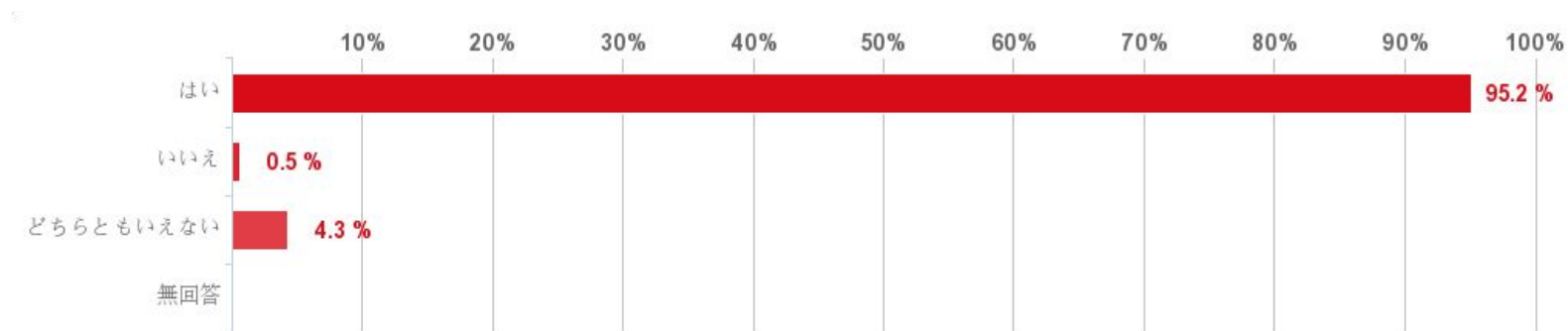


多くの方の協力のもとドリームデイ・アット・ザ・ズーを開催いたしました。
人とのつながりを感じていただけるようなイベント内容でしたか？ (回答数 559)

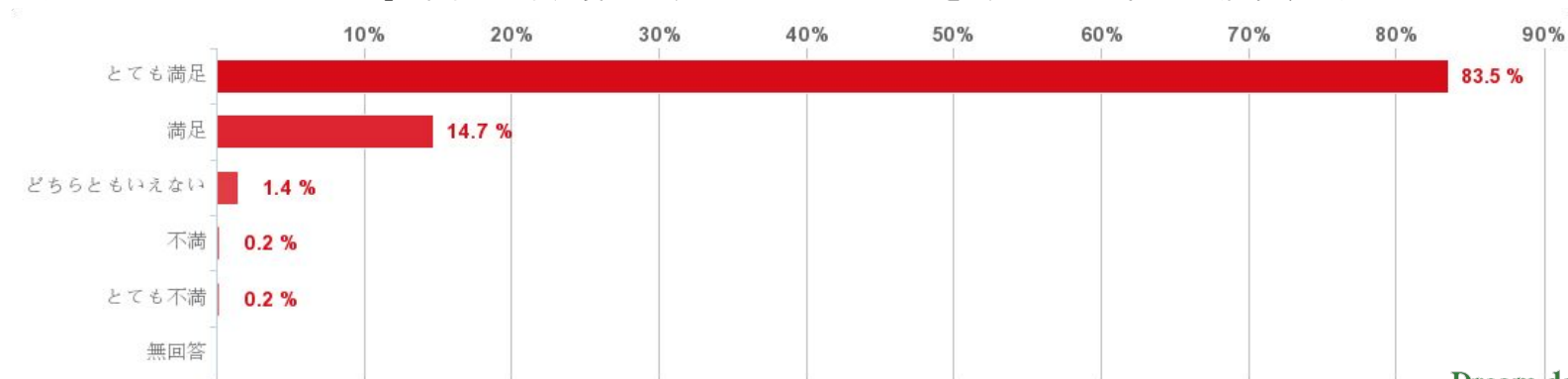


【ゲストアンケート】

コロナウイルスの感染症対策はみなさまに安心していただけるものでしたか？ (回答数59)

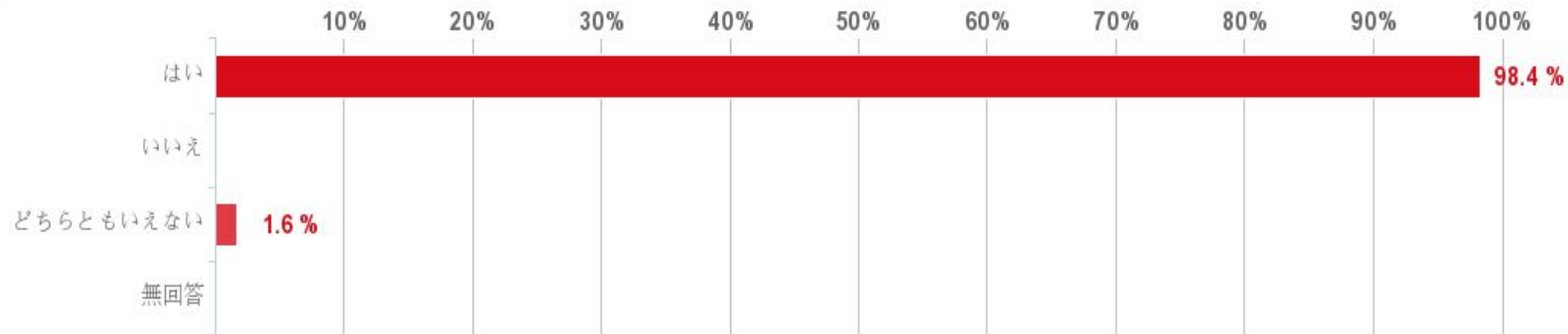


「ドリームデイ・アット・ザ・ズー2022」の総合的な満足度として、もっとも当てはまるものをお選びください。 (回答数59)

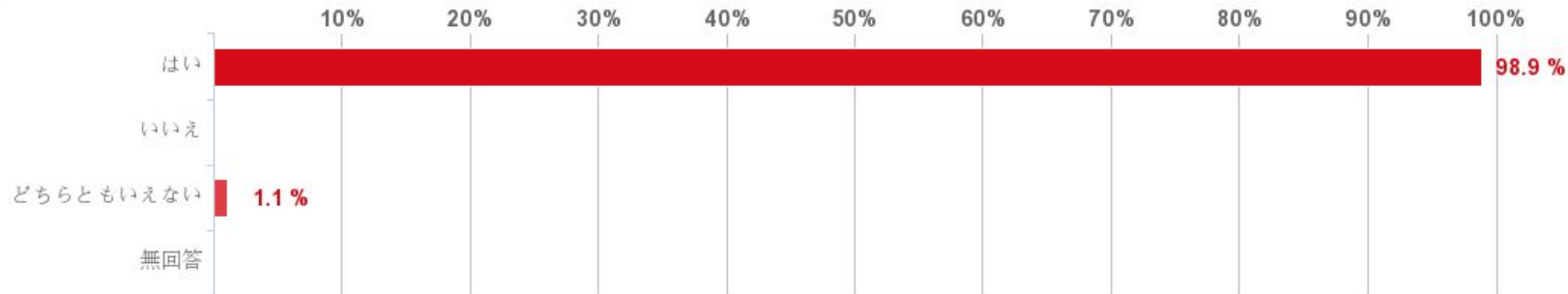


【ゲストアンケート】

また、アドベンチャーワールドに来園したいですか？ (回答数559)

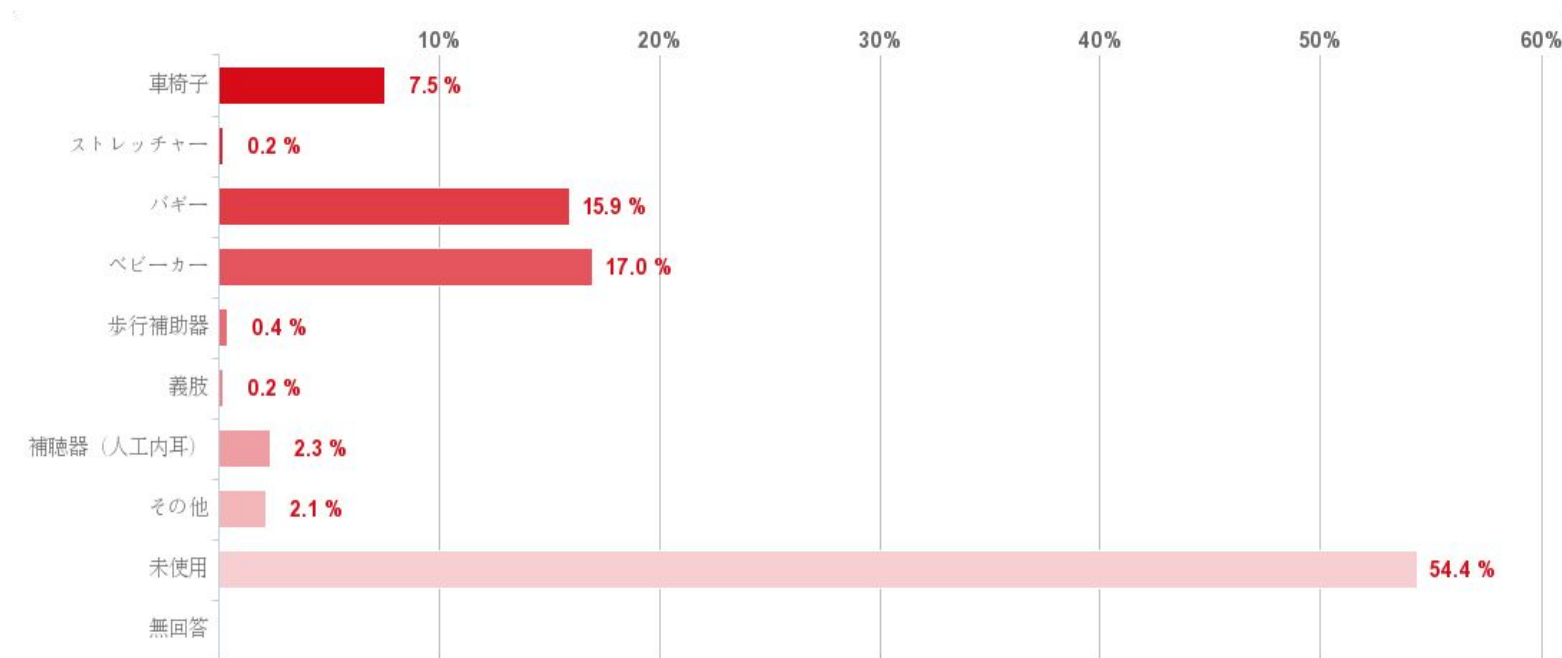


友人やお知り合いの方に「ドリームデイ・アット・ザ・ズー」を勧めたいですか？ (回答数559)



【ゲストアンケート】

当日使用した福祉器具をお選びください。 (回答数559)



【ゲストの声】

早めに駐車場に着いたのですが、駐車場のお兄さんの笑顔にうっとりしてしまいました。

普段堂々と、と言っては変ですが、出掛けるにも人の目が気になる事もありますし、この様な機会を作ってくださった園のスタッフの方々、ボランティアの方々、協賛の方々に本当に感謝しております。最高の思い出が出来て、思い出すだけで目頭が熱くなります。ありがとうございました^^

今回友人の紹介で初めて参加しました。自分が子供の頃に親に連れてきてもらったり、今のパートナーと遊びにきたことがあったりと、**思い出のアドベンチャーワールドに息子と一緒に来られたことが本当に嬉しかったです！**

息子が小さい頃は酸素が必要で常にボンベを持って移動していました。そんな息子も4歳になり、酸素も外れて今では走り回っています。



【ゲストの声】

大好きなパンダが絵本の中やテレビでしか見た事がなかった息子が至近距離で見れて喜んでました！
普段のアドベンチャーより貸切だったのでスムーズに遊べたことがとても助かったたくさん回れたので
良かったです！来年もまた応募させてもらいます！

足が不自由で、ゆっくりしか歩けず、乗り物やアトラクションの階段や通路に時間がかかってしまい、
普段は急いで！と言ってしまいがちですが、周りの方々の暖かい配慮で、ゆっくりでも落ち着いて移動出来ました。
スタッフの方々もとても親切でした。

普段障害がある子達に会うことがあまりないので、こういった機会で「自分と同じ装具だ！」と、
自分だけじゃないんだと思ったと思います。

また、色んな頑張りっ子がいるんだよと、子供にとっても、親にとっても、良い経験をさせてもらいました。

【ゲストの声】

今回このような素敵な企画を実行していただき、ありがとうございます。

普段出かけるにも子どもの事があって辞めることもあるのですが、手帳お持ちの方限定で招待で呼んでいただけると理解がある方が多く、気持ちとしてとても安心できました。

また色んな障害をお持ちのお子さんたちと出会うこともあり、お父さんやお母さんの頑張りも見えて、**「同じ気持ちの方がたくさんいらっしゃるなあ」と心強く思うことも出来ました。**

素敵な思い出たくさん出来ました。スタッフの皆さん、ボランティアの方々、ありがとうございました！

今回3回目の参加となりましたが、毎回スタッフの方々の手作りのおもてなしや温かい声掛けに感動します。

普段はパニックになって泣いてしまった時に、周りの方にご迷惑をかけていないか、などを気にしてしまいますが、**この日だけは家族でのびのびと楽しむことができます。**

素晴らしいイベントを開催していただき、心から感謝の気持ちでいっぱいです！

とっても素晴らしい取り組みで、家族みんな大満足で帰りました。

普段混んで諦めていたことに、挑戦できたり、おちついて動物が見れたり、無料のワークショップなどたくさんブースがあり、時間が足りないくらいだった^^

また来年も絶対絶対きたいです！

【ゲストの声】

大変素晴らしいイベントを企画していただきありがとうございました。

特性を持ち生き生きと過ごしている他の参加者の方々を見て、勇気を貰いました。

ボランティアの方やスタッフの方の笑顔もすごく素敵で、配慮に満ちた対応で歓迎していただいたことが本当に嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。

以前家族旅行で訪れた時は、子供は保育園年中だったので、乗り物を楽しんだり、動物と触れ合う余裕がそこまでなかったのですが、**今回を機にアドベンチャーが大好きになりました。**

家に帰ってもずっとその話をしています。本当に素敵な思い出をありがとうございました。

何処かへ出かければいつも誰かに見られる。

そんな日常が慣れっこになっていましたが、今回参加できて、**みんな何かを抱えていて当たり前環境にとても居心地の良さを感じました。**

困っている人がいたら助け合って当たり前環境で穏やかに過ごせました。

ありがとうございます。

入園料お支払いしますので、年一回と言わず数回開催していただけたらどれだけありがたいか…。

ボランティアの方、アドベンチャーワールドのみなさん。

関係者の方全てにお礼申し上げます。

【ゲストの声】

スタッフの皆さま、来場されていたご家族の皆さま、
温かい方ばかりで安心してゆっくりと過ごすことができ本当にありがとうございました。
普段、迷惑がかかるとか大変だからという理由で障害を持つ子連れで行くのは心構えが必要なのですが、
このようなイベントを開催していただけたらと思いついて行こうって気持ちになります。
きょうだい児もいつも我慢ばかりさせていて色んなところに連れて行ってあげられていなくて申し訳ないと思うことが
多々ありますが、今回、4歳の妹がすっごく楽しんでくれて、親の私からしたらそれが一番嬉しかったです。

医療ケアの子供がいると、なかなか家族揃ってのお出かけは難しいです。
こういったイベントがあると家族揃って参加できるのでとても嬉しいです。
娘が産まれてもうすぐ5年、今回初めての家族旅行になりました。
兄弟もなかなか遊びに連れて行ってあげることができず、当日をととても楽しみにしていました。
大興奮でした。これからも続けてほしいです。

他のお子さんたちがとても楽しそうにしていたので、こちらも笑顔になりました。
見えない障害なので、出先では嫌な顔されたりすることも多く、どんどん出かけなくなっているのですが、
ドリームデイ・アット・ザ・ズーでは皆さんがお互い様なのでちょっと気楽に参加できて、親の方がホッとします。
大変だとは思いますが、是非これからも続けて下さい！

【アドベンチャーワールドスタッフの声】

車椅子やストレッチャーなどをご使用のゲストがケニア号(サファリエリアを周遊する列車タイプの乗り物)にそのまま寝れることに驚かれています。
一旦降りて乗ることが難しいのですごく助かりましたとおっしゃっていました。

会話ではないですが、ポニーライドご利用の男の子はスタート直後は怖くて両手で自分の顔を覆っていましたが、途中から最高の笑顔になってくれました。
また別の女の子はスタート直後はやはり怖くて片手は私の片耳を握りしめ、もう片手は私の髪の毛を引っ張っていました。でも、そのままにさせておき色々お話をしていると途中から両手を放してくれて、なんとか会話もできる程楽しんでいただけました。

「家族揃って動物園へ出かけるのは初めて。
普段は周囲を気にしながら出かける必要があるのも、そのような煩わしさから解放されるのはとても嬉しい。」
「今日という日を本当に心待ちにしていた。」
などなど…パーク内を巡回中にお声かけくださることが、嬉しい限りです。

【運営Smileサポーターの声】

障害者のお子様とご家族の皆様が心から笑顔で楽しんでらっしゃる姿を見て感動し、温かく幸せな気持ちになりました。
障害者の方々やそのご家族が暮らして行きやすい世の中になっていくことを心から願いますし、周りにそういった方と遭遇した場合は積極的に声をかけて行こうと学ばせていただきました。

元気に遊んでいる子どもたちの様子と笑顔を見ているだけで、こちらも笑顔になりました。
帰り際に「楽しかったあ♡」とってくださった時の感動は最高でした。
このたびは貴重な体験をさせてくださり本当にありがとうございました。

バスの待ち時間などに子ども様と目線が合うように姿勢を低くして対応させてもらった時の家族さまの笑顔などとても印象的でした。
本当に、ありがとうございました。



【運営Smileサポーターの声】

私にとって、アドベンチャーワールドは家族旅行や修学旅行で訪れた場所で、数年が経った今でも楽しい思い出が記憶に残っています。

ご来園されたゲストの方々にとって「ドリームデイ・アット・ザ・ズー2022」が一生の思い出として残っていただけたら、携わった者として嬉しく思います。

担当が遊園地のコーヒーカップのお手伝いをさせて頂いたのですが、お子様方の嬉しそうな笑顔にこちらも自然と笑顔になりました。何よりお子様の楽しそうにされてる姿を親御さんが凄く嬉しそうに見つめられている姿を拝見し胸が熱くなりました。今まで動物だけが癒しで笑顔になれると思っていましたが遊具も笑顔になれる場所なんだと痛感しました。

参加されていたご家族が「とても楽しかった！」と感想を言われていました。『来年も来たい！』と障害のある子どもたちや家族がそう言える場所があることに医療者としても感謝です。



【改善の声】

- ・受付に時間がかかった点
- ・休止機種が多くオープン機種に人が密集していた、もう少し間隔をあけてほしい
- ・混雑していたので当選数が少なくなったとしても混雑緩和してほしい、1000組は多すぎる

- ・ペースト食などの販売
- ・音響が静かなエリアが欲しい

- ・マリンライブの車椅子席の柵が子供の視線と被っていてライブが見えにくかった
- ・ボランティアが1番前の席で観覧していた、自分優先での行動が目立った

- ・立体地図(触地図)や触れる動物模型があればいいなと思った
- ・ストレッチャーで乗るエレベーターが狭かった
- ・トイレが狭い
- ・多目的トイレが混雑していた、臨時でもいいから数を増やして欲しい

- ・任意でつける障害別のステッカーをつくってほしい(把握して欲しい)
- ・靴を脱いで立っておむつを変えられる場所などあれば嬉しい

【マスメディアによる取材】

◆TV : 朝日放送、テレビ和歌山

新聞: 紀伊民報、毎日新聞



11月9日掲載 紀伊民報



12月1日掲載 毎日新聞

【マスメディアによる取材】

◆Web記事への掲載

紀伊民報

<https://www.agara.co.jp/article/236457/>

朝日放送

https://www.asahi.co.jp/webnews/pages/abc_17042.html

時事通信

<https://www.jiji.com/jc/article?k=000000488.000040302&g=prt>

わかやま新報

https://www.wakayamashimpo.co.jp/2022/09/20220915_111674.html